

寒くなってきました。 水道管の凍結・破裂に ご注意ください!!



「しずくちゃん」

今年の夏はすごく暑かったけど、すっかり冬になったね。ところで、しずくちゃん、水道管や給湯器などの冬支度はもう終わった?



「すいてきくん」

えっ!なにもしていないよ。水道管や給湯器も冬支度があるの?

冬の冷え込みが厳しいとき、水道管が凍ったり、破裂したりする場合がありますよ。



それは大変!!水道の水が使えなくなる!



そうだよ。水道管が破裂する件数が増えると、修理する工業者も上下水道局もすぐに来られなくなるし、水道メーターから家側の修理費用は自分たちで払わないといけないんだ。しずくちゃん、いっしょに冬支度(寒波対策)を勉強しよう!



担当課:給水課
Tel:095-826-9211
総務課
Tel:095-829-1203

←チラシをめくってね!

4

それでも、凍ってしまった時は



・気温が上がり自然に溶けるのを待ちましょう。
・または、凍った部分にタオルなどを被せてゆっくりと「ぬるま湯」をかけてください。



注意 熱湯をかけると破裂するおそれがありますので絶対にかけないでください。

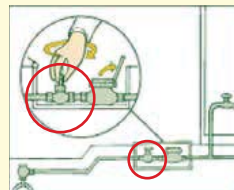


※万一の凍結を考えて、トイレなどに使用するために、お風呂の残り湯を取り置くことも良い方法です。
※給湯器が凍結したときは、給湯器のメーカーや取扱店の指示に従ってください。

5

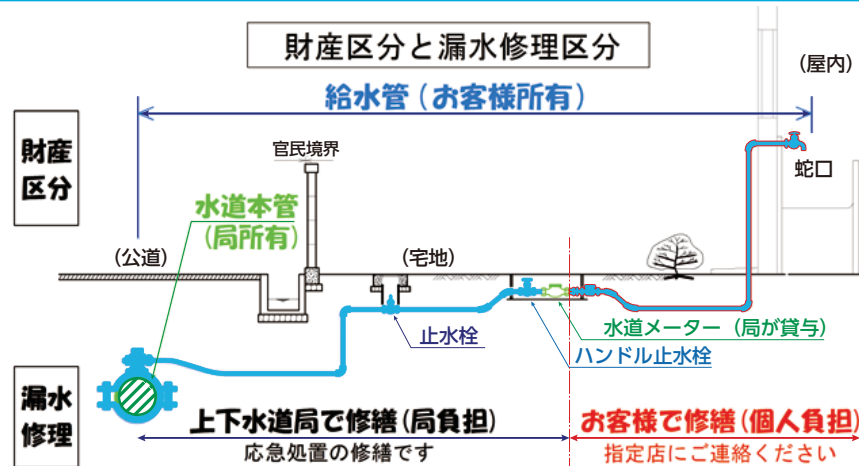
破裂してしまったら

1. 水道管やじゃ口が破裂したとき
メーターボックス内のハンドル止水栓を閉め、すぐに長崎市指定給水装置工事業者(市のホームページで確認できます)へ修理を依頼してください。
2. 止水栓がわからなかったり、水が止まらない場合
上下水道局給水課(095-826-9211)へ連絡してください。



メーターボックス内
(赤丸がハンドル止水栓、
右の青が水道メーター)

給水管(水道本管の分岐部から蛇口まで)はお客様の財産です。家庭でしっかり管理しましょう。



平成28年1月の寒波では、市内各所で家庭の給水管が破損し、配水タンクの水量が急激に減ったため、一部の地域では停水になり、市民生活に大きな影響が出ました。



水道管を寒さから守りましょう!!



1 凍結するのはどんなとき?

・気温が氷点下になったとき

※長崎市では、最低気温が-3℃以下になると予想される場合などに、低温注意報が発表されます。

2 凍結しやすいのはどんな場所?

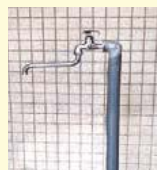
- ・水道管が屋外に露出(むき出し)している場所
- ・家の北側など日の当たらない場所
- ・風当たりが強く、日かげになる場所



3 凍結させないためには

(1) 屋外にある水道管を保温する。

壁や石垣などにあるむき出しの水道管、外水道の管やじゃ口は直接冷気にさらされ、凍りやすくなっています。しっかりと保温しましょう。



むき出しの水道管

保温材を巻きます

完成!

タオルでも大丈夫です!

- ・タオルなどの古布や保温材(ホームセンター等で購入できます)などで覆います。古布などはテープやひもで固定します。
- ・濡れやすいものを使用する場合は、雨や雪で濡れないようビニールなどで覆って、テープなどで補強します。

(2) じゃ口から少量の水を出し続ける。(水道料金はかかります。)



- ・水道管を古布などや保温材で覆っても凍結する場合があります。
 - ・水道を使用しない時間帯は、浴槽などへ糸状に少し水を出しておく、より凍りにくくなります。
- ただし水道料金はかかります。大切な水ですので、溜まった水は洗濯などに利用してください。**

(3) メーターボックス内を保温する。



メーターボックスの中は空洞になっていて、冷気が入り込みます。発泡スチロールや古布などを濡れないようにビニール袋に詰めて、すき間にしきつめることで、直接冷気があたるのを防ぎます。

(4) 給湯器の対策を行う。



給湯器内の配管など器具が凍結するおそれがあります。給湯器のメーカーや取扱店のホームページを参考にするか、または、直接問い合わせる対策を行ってください。

※水道管の凍結防止方法は、動画でもお知らせしています。

市トク 凍結 で検索!

それでも凍結・破裂してしまったときは。